

学習シラバス 芸術科

科目名	単位数	学科・学年・類型
書道 I	2	普通科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 書道を通して情緒豊かな人間性を高めます。 2 感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。
使用教科書・副教材等	書道 I (教育出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学 期	1 書道に親しむ	4	姿勢や執筆、用具用材について理解します。	
	2 漢字の学習 ・楷書 (1) 楷書の特徴 (2) 「九成宮禮泉銘と孔子廟堂碑」		楷書の特徴を理解し、楷書の基本用筆・運筆を学習します。	
	(3) 「建中告身帖と雁塔聖教序」	5 6	数種の古典の臨書と鑑賞を通して、書風の違いを理解し多様な美を学習します。 古典に基づく基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆との関係や字形について学習し、書表現の多様性を理解しその表現方法を習得します。	
	3 硬筆の学習	7	日常一番使用する硬筆の基本的な書法を理解し、実用書に生かします。	
【課題・提出物等】				
1 授業の終わりに提出する作品				
2 授業の中に配布するプリント				
【1学期の評価方法】 学習プリント、提出作品、学習活動への参加の仕方や態度の評価の算術平均				
2 学 期	4 漢字の学習 ・行書 (1) 行書の特徴 (2) 「蘭亭序と風信帖」	8	行書の表現の多様性に触れ、行書の成立について正しく理解します。	
		9	「蘭亭序と風信帖」の鑑賞と臨書を通して、行書の基本的な表現技法を理解します。	
		10	筆使いの違いによって、表現に変化が表れることを理解します。	
		11	生活の中の書を再認識し、その意義や効果を考えます。	
		12		
【課題・提出物等】				
1 授業の終わりに提出する作品				
2 授業の中に配布するプリント				
3 夏季休業中の課題—興味関心のある展覧会に足を運ぶ。				
【2学期の評価方法】 学習プリント、提出作品、夏季休業中の課題、学習活動への参加の仕方や態度の評価の算術平均				

3 学 期	6 仮名の書の学習 ・仮名の特徵 ・いろは歌 ・「高野山切と蓬来切」 ・創作	1 仮名の線質の表し方、字形、文字の大きさと全体構成、意図に基づく表現の構想と工夫について理解し、表現していきます。 いろは歌をマスターすることによってひらがなの基本的な形をとらえます。	2 仮名の基本的な用筆・運筆を学習し、字形の特徴、文字の配置、余白等について理解を深めます。	3 一年間で学んだことを生かし、個性豊かな創作作品を仕上げます。
	【課題・提出物等】 授業の終わりに提出する作品			
	【3学期の評価方法】 学習プリント、提出作品、学習活動への参加の仕方や態度の評価を算術平均			
【学年末の評価方法】 1学期と2学期と3学期の算術平均				
確かな学力を身に付けるためのアドバイス		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校で学習してきた「書写」は書の導入部分であり、基本的な部分です。高校では広範囲による書美を追求し、文字に生命力を吹き込んだ表現を目指すものです。創作活動＝自己表現は、臨書により表現の幅を広げ創造性を養うことにより初めて成り立つものです。古典作品にしっかり向かい合ってください。 ・生活の中に生きている身近な書に目を向けてください。普段何気なく生活している周りには、文字があふれかえています。自分の興味のある書には少しでも意識を傾けてみましょう。 ・何よりも書道が上達するためには興味関心を持ち、字を書くことが楽しくなければなりません。おもしろくなってくれば、自然と、練習にも力が入ります。ぜひ薄れていく文字の美しさを再確認しましょう。 		
授業を受けるに当たって守ってほしい事項		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の開始のチャイムが鳴るまでに、文房四宝（筆・墨・紙・硯）、教科書、筆記用具等を準備して各自着席を完了し、授業がすぐ始められるようにしてください。特に、教科書、筆を忘れた場合は貸し出しますので事前に申し出てください。 ・欠席した場合は、指示に従い、与えられた課題を提出してください。 ・用具や用材、書道教室は、みんなで共用しています。一人一人がマナーを守って、気持ちよく使用できるよう心掛けましょう。 ・創作活動は一人でするものもあれば、クラスで協力するものもあります。協調性を大事にして下さい。 		

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・書を愛好し、書写能力を高め、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行う。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・作品
書道表現の創意工夫	・感性を豊かにし、書よさや美しさを感じ取り、普遍性に裏打ちされた創造的な表現を工夫する。	・作品制作プリント ・作品
書道表現の技能	・書を通して表現する能力を伸ばし、基礎的な技能を身に付ける。	・作品
鑑賞の能力	・書が果たしている役割を理解し、その良さを味わう。 ・鑑賞と表現は関連していることを理解し、書の美しさを感じ取る。	・自己及び相互評価表